★事業所紹介★　グループホームかじかの里

グループホームかじかの里は定員9名で、認知症をかかえて自宅での生活が難しい方が入居されている施設です。
「急がない・せかさない・一緒にゆっくり」をスローガンに、家庭的な雰囲気の中、その人その人のペースを大切に支援をさせていただいています。
認知症の症状を緩和させるため、自分でできることはやっていただき、脳を活性化させるレクリエーションや作品制作なども取り入れて、生活の中でのリハビリを行っています。

職員と一緒に食事の準備も

寒い日には柚子湯の足湯が登場

干し柿作りなど季節を感じながら

畑で採れた野菜も食卓に並びます

八坂小学校福祉体験＆見学

～施設見学～

10月10日（水）八坂小学校の児童19人が「まち探検」という授業の中で来苑。施設を見学し介護用ベッドの動きや車イス、機能訓練の機械などを体験してもらいました。
また、デイサービスでは急きょ校歌も披露してもらい、ご利用者との交流もありました。
後日、児童から心温まるお礼のメッセージが届きました。
優しい心を持ち続け、将来、介護の道へ進んでもらえればと淡い期待も・・・。

～小学生からの手紙～

先日は、車いす体験をさせていただきありがとうございました。
私は、実際に車いすに乗って車いすで過ごされる人たちの気持ちがよく分かりました。
自分で車いすをこぐのはとても大変だなと思いました。もし車いすに乗っている人を見つけて大変そうだなと思ったら手つだいたいと思いました。

～出前授業～

とくぢ苑では山口市社会福祉協議会とタイアップして、八坂小学校に於いて、10月22日（月）に開催された4・5年生を対象とした福祉体験授業に協力させていただきました。
とくぢ苑が車イスの走行体験やデイサービスの送迎などに使う福祉車両への乗り込み体験、車両説明を行った後、市社協によって足に重りを付けたり、目の視界を遮るゴーグルを付けての高齢者疑似体験が行われました。
日頃なかなか見ない福祉車両に興味津々の様子でした。